

# 市政ニュース 速報版

2017年3月17日 日本共産党 岡山市議団 NO. 220  
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

2月議会  
閉会

## 議会は行政のチェック機能果たすべき 竹永みつえ議員が反対討論で市政をただす

2月定例岡山市議会は17日、教員権限の市移譲に伴い過去最大となる2017年度予算や5カ年計画（前期中期計画）など、市提案の70議案すべてを可決して閉会しました。

日本共産党岡山市議団は、このうち10議案については、市民の立場から考えて問題があるとして反対し、竹永みつえ議員が討論しました。

### 市民の願いが反映したところは…

**いのちと暮らしを守る予算**・・・国民健康保険料の10年連続据え置き、保育料引き下げや市独自の保育士処遇改善、スクールソーシャルワーカー実現、町内会の備品修理補助、用水路安全対策の緊急対策など。

**不適正な行政の是正**・・・駅元町再開発の特別会計（特定業者の責任放棄を市が後始末）や、下水道光ファイバ事業（民間事業に手を出した萩原市政の無駄遣いの象徴）が終了。党市議団が指摘し続けていました。



### 不適正契約に共産以外がまさかの賛成！？

指名停止業者に小学校の耐震工事を発注するという明らかに不適正な内容の契約議案。議会が反対してストップをかけるべきなのに、共産党以外の全ての議員がまさかの賛成！

### おかしい議案ほかにも…

天神町の後楽館中高跡地は、民間売却方針が昨年9月に突然発表されましたが、市中心部の一等地をどう使ったらよいかの市民的議論は全くされていません。それだけでなく、決定経過の記録が残っておらず、売却方針や売却価格の妥当性など後から検証することができない状態です。

待機児童解消の問題では、待機児童の受入れにほとんど役立っていない認定こども園に予算が集中していますが、より市負担が少なく済む認可保育園の整備や保育士の確保、市立幼稚園の空き教室の抜本活用などは不十分で、これで「最大限の手を打った」とは到底言えません。

また、市立認定こども園化の推進とセットで、それ以外の市立幼稚園・保育園は全て廃止・民営化することも大問題です。

その他、多様な市民の意見を置き去りに進められている前期中期計画、介護はずしでサービス切り下げの総合事業推進、特定業者ありきで安全や衛生面を後回しにする学校給食民営化、有料ごみ袋の予算、マイナンバーの利用拡大、苫田ダムから不要な水を買っていることなども、今の岡山市政の問題点です。